日伯新聞
伯國聖市マエストロ・カルジン街二六（ヴエルゲイロ街一五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年冊ミル
外國郵稅共百ミル

Sr. Kobayashi R. Galvão

NEMO ネモ化粧品

見よ！無敵空軍の威容

致命的大爆擊を加ふ

陸の荒鷲、連日猛爆
山西の敵軍動搖す
地上部隊、太原に進擊の歩

【〇〇廿一日同盟】峻嶮峨々たる山西北部方面及び正太線方面の進擊を積極的に援助し日々猛烈な空爆を敢行しつゝある陸の荒鷲部隊の廿日における空爆狀況左の通り

先づ正太線では省境を越へ堅固を誇る敵の要害に肉迫する鯉登部隊の進擊を援護するため、午前十一時半中富部隊の〇〇機は地上部隊の前面の敵陣地娘子關、新關を爆擊、次いでその後方陽泉驛を襲ひ、運行中の敵部隊滿載の列車を爆擊、更に園田、島田兩部隊の〇〇機は午前午後の二回亘り新關の西南方槐樹舖、固關蘆澤關の敵陣地を爆擊甚大の損害を與へた、又同浦鐵道方面でも島田、島谷、加藤、笹野各部隊は太原西南方汾陽、趙城並にその附近の敵飛行基地を爆擊した、この連日の空爆で敵軍の動搖甚しく我が地上部隊は逐次太原の心臟部目指し進擊の歩を進めてゐる

【東京廿日同盟】〇〇根據地廿日我が空軍〇〇機は廿日早朝又も忻口鎭を空襲、壯烈な爆擊を行ひ敵に多大の損害を與へ無事〇〇基地に歸還した

太原城內
避難民混亂

【山西省原平鎭廿日同盟】我が空軍數次に亘る爆擊で離攻不落を誇つた忻口鎭陣地の陷落も最早時期の問題となつた結果、山西軍の本據太原城內は避難民でごつた返し南方に通ずる街道も避難民殺倒して大混亂を呈してゐる

大擧南京を空襲
敵機、遂に姿を見せず

【上海廿一日同盟】我海軍航空隊〇〇機は廿日に引續き廿一日正午頃又も大擧南京を空襲、大教場飛行場、浦口停車場及び流酸工場に巨彈を浴び徹底的打擊を加へた、一方中野少佐の率ひる海軍航空隊〇〇機はこれと相呼應して南京市內外の軍事施設に猛烈な爆擊を加へ多大の効果を收めた、榮金山に映ゆる夕日を銀翼に浴びつゝ全機無事歸還した、この日南京上空に敵機を見ず地上部隊のみが僅かに反擊したのみであつた

海軍機又々
南昌大爆擊

【〇〇廿日】海軍航空隊は廿日午後六時五十分大擧江西省の南昌を空襲、飛行場、兵舍格納庫その他に大爆擊火災を生ぜしめ敵三機中一機を擊墜全機悠々歸還した、又一部は午後一時豐漢線の要地〇〇驛を爆擊、大損害を與へた

四日で機關車を修理
我が鐵道部隊活躍
山西攻擊戰に效果擧ぐ

【石家莊廿一日同盟】我が〇〇部隊は山西省境娘子關により正太鐵道を占據した、然し正太鐵道は狹軌であり平漢線の車輛をその儘使用出來ぬといふ惡い狀態なので石家莊〇〇部隊一部は正太鐵道を占據して友軍の進擊を掩護の重要任務を遂行すべく、去る十一日石家莊占領と同時に石家莊警備を命ぜられた星野部隊は機關車庫內に破壞された儘遺棄されてゐた機關車の修理に取りかゝり僅か四日で見事運轉し得る程度の修理に成功、これを使用して十六日より井井厓間の鐵道を占據した、然し惡い狀態なので平漢線の車輛をその儘使用出來ぬといふ惡い狀態なので石家莊〇〇部隊一部は正太鐵道を占據して友軍の進擊を掩護の重要任務を遂行すべく、去る十一日石家莊占領と同時に石家莊警備を命ぜられた星野部隊は機關車庫內に破壞された儘遺棄されてゐた機關車の修理に取りかゝり僅か四日で見事運轉し得る程度の修理に成功、これを使用して十六日より井

ソ聯赤軍飛行士
空路、南京に向ふ

【上海廿一日同盟】確報によればソ聯赤軍より選拔された現役飛行士十數名が、空路新彊經由最近蘭州に到着したことが判明した、一行は一兩日中西安を經て漢口及び南京方面に向ふといはれる

折角の戰時貿易統制
徒らに弱體性を暴露
自繩自縛の支那側輸出禁止令

【東京廿一日同盟】事變以來國民政府は戰時貿易統制を施し何等の効果も與へず、逆に行し、八月十六日小麥の輸出禁止令に次ぎ九月迄鐵、麻、雜穀類等矢繼ぎ早に輸出禁止命令を公布し、國防資源の確保と對日軍需品輸出禁止に狂奔してゐるが、結局日本に對し何等の効果も與へず、逆に支那自身の關係當業者に苦痛と打擊を與へ、國民政府折角の貿易統制令も徒に支那經濟の弱體性を曝露するに止まつたことは餘りにも皮肉である

例へば小麥粉の如きは北支に於ける日本軍の食量に供されるとの一部の宣傳に乘つて輸出を禁止したところ數十萬袋の北支向け輸出契約を結べる華商は大打擊を蒙つたのみならず、華商製粉商は原料難で半操業するなどの恐慌に直面し遂に國民政府は全面的輸出禁止令發布後一週間で國內向け障碍あるものに限り輸出許可するに至つた、同じ矛盾は鉄及び鋼の輸出禁止にも現れ禁止後廿日からは國內向け證明あるものに輸出許可するなどの朝令暮改の醜態ぶりを演じた、又軍需原料たる輸出制限鐵類、廢物金屬の輸出禁止等は重工業の基礎の確立せざる支那にとつては徒に國內業者を壓迫するのみであつた

敵兵退却の跡！念入にも路鐵を破壞してゐる

南京政府の危急存亡に
一般國民極めて冷淡
救國公債、應募額僅に一億元

（上海廿日）國民政府が死活問題とし躍起となつてゐる救國公債は國民間に頗る不人氣で外銀側の調査によると、今日まで應募額は僅かに一億元にも達してをらず如何に一般國民が南京政府存亡の危機に對し冷淡であるかを物語つてゐる

學校、兵營に化し
支那の逆宣傳振

【香港廿日同盟】支那側は頻に我が空軍の文化機關爆擊を宣傳の具に供してゐるが、信ずべき外人筋の情報によると事實は全くこれを裏切り、支那側は蔣介石の命令で各學校を兵營にあて策戰行爲を行ふなど純然たる軍事施設をしてゐるので爆擊されるのは當然だと外人筋ではいつてゐる

爆破鐵橋物ともせず
皇軍、平漢線を南進
彰德の敵軍早くも退却

【天津廿日】平漢線漳河鐵橋に達した我軍は廿日午後四時半双廟發對岸に向け南進開始

【天津廿日同盟】平漢線漳河鐵橋爆破により前進不能となつた我が列車追擊隊は十九日から河を隔てゝ有力な敵部隊と對峙、迫擊砲、機關銃戰を演じてゐたが、風の如き遠山森田の兩追擊隊の進擊は止まるところを知らず、遠山部隊は廿日午後四時半双廟を出發對岸の敵部隊を擊滅すべく南方に向け進擊した、なほ豐樂鎭、彰德方面の敵は石家莊、元氏、邯鄲などの敗走兵をこの方面に集結したものらしく情報によればその一部は既に彰德より江岸に向つて退却しつゝあると

廣東軍當局
珠江封鎖を解除

【香港廿日同盟】廣東軍事當局は封鎖による軍需品輸送が非常な窮境に陥つたので、遂に廿日珠港封鎖を解除、再び汽船で武器輸送を行ふことゝなつた、これにより香港に山積せる夥しい貨物は水陸兩方面から廣東へ運ばれることゝなつたわけである

線部隊は井陘より西方に進出敵彈の雨飛ぶ中を線路の修理に當つてゐるが、鐵道部隊による唯一の交通路並に機關車の修理は我が山西攻擊戰に大なる効果をなすものである

事變の進展に伴ふ
銃後の內政强化
內務省、積極的に乘出す

【東京廿一日同盟】內務省は支那事變の進展に伴ひ銃後の內政强化を一層徹底せしめ、軍事扶助の擴充、國民精神總動員の實施に全力を傾注することゝなり廿一日馬場內相、廣瀨次官以下主腦部會議を開き軍事對策を究の結果第一着手として政務官、局長、部長を繼動員して、地方に於ける軍事扶助、事業の實施狀況、銃後の精神總動員實施の狀況その他地方事情一般を視察することゝなり、全國を十一班に分擔を定め直に現地視察を行ふことゝなつた、その皮切りは成田勞働部長の廿二日支那視察より開始されることに決定した

陸軍豫科士官學校卒業生
第一線へ

【東京廿一日同盟】九月陸軍豫科士官學校を卒業した少尉候補者第十七期學生その他合計〇〇名、主計少尉候補生〇〇名及び衛生少尉候補生〇名は廿一日夫々各兵科部少尉に任ぜられた何れも直ちに第一線部隊に配屬されたが、これで皇軍は一大新鋭力を加へた譯である

齋藤駐米大使
全米に放送

【華府廿日同盟】齋藤大使は支那事變に於ける日本の公正なる立場を闡明するため、來四名の中松下義一、橋本利男黑澤欟男三君は重要任務についたゝめ不參、安場中佐を始め皆元氣な顏で和かな光景を續け、かくて午前十時辯護人二十名を先頭に全被告入廷、宇野裁判長係りで開廷されたが、全被告とも時局認識から面倒な陳述を不要となし總て公判延に於て陳述すれば足るとなした模樣で第一回準備公判は頗る呆氣なく終つた

北支御差遣
侍從武官出發

【神戶廿日同盟】長き邊りより北支御差遣の侍從武官四手井中佐は宇佐美宮內屬同伴、廿一日正午神戶出帆の長城丸で天津に向つた

愛知縣下女學校
軍事教練を率先

【東京廿一日同盟】愛知縣下卅餘校の女學校では日本婦德の涵養と婦人報國運動實現のため全國に率先、女學生一萬五千餘名で愛國女子團を結成すると共に各學校で軍事教練を實施することゝなつた

神兵隊事件
第一回準備公判

【東京廿一日同盟】昭和維新を企てた神兵隊事件は非常時局に愛國の熱意に燃え全被告の大乘的態度により蟠を一掃して公判準備綢繆の運びとなり廿一日午前十時からその第一回を大審院法廷で非公開で開廷、これより先全被告五十

アフガニスタンでも
親日的氣分橫溢
日本留學生、船中に語る

【神戶廿一日同盟】廿日正午神戶入港のプレシデント・ゼファソン號ではアフガニスタン外務省派遣の留學生東大採鑛冶金科アブダラ・ラヒト君（三）以下六名が再來朝したが船中支那事變に關して左の如く語つた

アフガニスタンの新聞紙はロイテル通信で支那側の宣傳もあるが、日本領事館の發表があり、更に東京のラヂオ放送が好調なのでかなり正確なニュースを聽取してゐます、從つて支那のデマにも大して迷はされず日本軍の連戰連勝と戰備の驚異的發展を識つてゐます、大いに期待してゐます

上海戰線
突進する我將兵に
卑怯、毒ガス彈發射
皮肉、風は敵陣向け吹く

【上海廿日】結果、窒息性催淚性ガス彈たる廿日〇〇攻擊を確認、殆んど被害はなかつたが、敵の非人道振りに我が將兵は痛憤してゐる

【上海戰線〇〇廿日同盟】〇〇攻擊は本日午後一時廿五分開始され勇敢なる我が兵は何れも或ひは丸裸或ひは夏服の儘前進クリークに水びたしとなつて彈丸雨飛の中を鐵條網を破りつゝ敵陣に突入したが廿日〇〇攻擊に際し支那軍は又々盛んに毒ガス彈を發射、我軍を苦しめたが遂に激戰の結果、一時間餘で〇〇の敵陣地を占領した、我軍は直ちに調査の結果、窒息性催淚性ガス彈であることを確認し、敵の非人道振りに我が將兵は痛憤してゐる

無敵!!
農家よ、安んぜよ！
この農藥品の効果に!!
國產
アルセニアット・デ・シユンボ（砒酸鉛）
アルセニアット・デ・カルシオ（砒酸石灰）
は赤刷レッテル貼付の本社販賣品を……
◆第注文は五十キロ（一樽）以上
多量御購入の方には
特別の御相談に應じます
……本社出張員又……
は直接本社へ……
工場 日本農藥株式會社
販賣所 日伯社營業部

農家の戰友……
獨乙製噴霧器
プラツツ（攪拌器付）
精巧・堅牢・無比
天下に冠たり
先づ良品の御撰擇が肝要です……
◆御注文は出張員
◆又は直接本社へ
直輸入 日伯社
營業部

九國條約國會議

招請狀を正式に接受
帝國、對策を愼重熟議
近く主催國白耳義に回答

【東京廿一日同盟】帝國政府は廿一日九ケ國條約國會議に對する參加招請狀を正式に接受したので廣田外相は直ちに右の旨を關係省に通牒したが、招請狀の內容及び字句等に就いて愼重研究する點があるので、先づ廿二日の定例閣議には招請狀接受の旨を報告するに止め、近衛首相並に關係閣僚と熟議の上、愼重の上にも愼重の態度を以て臨む方針である、而して關係省間に於て之が對策を決定次第速に閣議を經て上奏御裁可を仰ぎ主催國たるベルギー政府に正式回答を行ふことゝなつてゐるが、政府は右回答と同時に我が公正なる對支自衛行動を堂々と中外に闡明する豫定である

【東京廿一日同盟】駐日白耳義大使バッソンピエール氏は廿一日午前十時三十分外務省に廣田外相を訪問、九ケ國會議主催國たる白耳義本國政府の訓令に基き別項の如き日本に對する參加招請狀を正式に手交した、これに對し廣田外相は近衛首相並に政府の各機關に諮つた上正式回答する旨答へ大使はこれを諒とし辭去

招請狀內容

【東京廿一日同盟】白耳義大使より廣田外相に手交された九ケ國會議參加招請狀の內容左の如くである

アメリカ合衆國政府の同意をもつて發されたる英國政府の要請に從ひ王國政府は一九二二年二月六日の九國條約署名國に對し、同條約第七條に基き東亞に於ける事態を檢討し該地域に行はれる遺憾なる紛爭の終結を促すべき友好的手段を考究するため本月卅日ブラッセルに會合せんことを提起す

南米各國 招請說
伯國外務省否定

【リオ廿日】外電の報ずる所によると九國條約會議は伯國始め亞國その他南米各國を會議に招請する意向だと傳へてゐるが、グローボ紙がピメンテル外相に確かめた所によると伯國政府は右に關し何ら招請には接してゐないと

先入觀念はない 只平和確立に努力
デビス米代表、出發に際し語る

【華府廿日アバス】九國條約國會議出席の米代表一行はワシントン號で出發したが、デビス首席代表は出發に際し次の如く語る

予は豫言者ではないが、現在の國際情勢は一九一四年大戰前の如く危機を孕んでゐる、予は日支紛爭の平和的解決を求めるべく自國政府の招請に應じて渡歐するが別に新しい約束もせず何らの先入觀念も持つてゐない、只平和確立のため全力を盡すのみだ

代表團の談によれば會議は九國條約に基き行はれ國際聯盟とは何らの關聯もないとしてゐる、なほデビス全權は昨日ルス大統領と三時間余も懇談し重大なる責任を肩字の間に仄かしつゝ辭去した

明倫會、九國會議反對決議

【東京廿一日同盟】明倫會では廿一日九ケ國會議參加反對の態度を決し聲明書を廣田外相に手交した

義勇軍撤收問題に伊國、妥協案を提示
不干涉分科委員會明朗化

【倫敦廿日同盟】不干涉分科委員會は廿日午後三時半再開スペイン義勇軍撤收問題の討議を續行した、前日は佛蘭西案を纏り意見對立を示し前途は暗澹たるものだつたが、伊太利代表は本日の委員會の劈頭左の妥協案を提示した

一、直ちに國際委員會を任命し外國義勇軍の撤收方法及び撤收すべき比率を決する目的を以て義勇軍の正確な數を調査せしむるため、これをスペインへ派遣する

一、伊太利政府は彙の英佛案の國際委員會が義勇軍撤收の順調なる進捗狀態を報告した場合は直ちにスペイン兩政權に對し國際法に基く或種の交戰團體權を認める案を檢討する用意あり

右妥協案に對し獨乙代表は伊太利案を支持し、ソヴェト代表は贊否を留保したが原則的には贊成を表明し委員會の空氣は著しく明朗化された

前途は多少好望か
消息通は尙警戒的態度

【倫敦廿日同盟】伊太利の妥協案提示により義勇軍撤收問題の前途は多少好望を示した感あるが、消息通は問題の複雜性に鑑みなほ安心は出來ないと警戒的態度を示してゐる

即ち伊太利案により義勇軍を撤收するまでには相當の時日を要し、その間革命軍は總攻撃を行ひ有利な地位を占めろ機會を得る譯である、又各國代表の隨員たちも政府は伊太利案の檢討には贊成しても直ぐには之を受諾しないだらうと示唆してゐるから、義勇軍撤收問題は今後相當の曲折は免がれまいと見られる

九ケ國條約解說
(一) 重要な成立經過

一、成立、アメリカ、ベルギー、イギリス、支那、フランス、イタリア、日本、オランダ、ポルトガルの間に締結された支那に關する條約である、ワシントン會議（一九二一—二二年）の際に締結され、一九二二年二月六日に調印された、その內容は支那に關する列國の政策として、大體に支那の領土保全と支那に於ける門戶開放機會均等の二大原則を規定したものである

支那の領土保全と門戶開放の原則は必ずしもこの條約によつて始めて宣言された ものではなく、既に一八九九年にアメリカの國務卿ヘーによつて提唱され、それ以來屢々繰返して宣言され約束されたものであつて、實に二十世紀の最初から支那に對する列國の政策の少くとも一つの重要なものであつた、しかしその內容は必ずしも明白なものではなかつた、最初のヘーの通牒で提唱された點は、支那に於ける各國の勢力範圍內に於て、開市場、港稅、鐵道運賃の三事項に關して平等待遇を約するに過ぎなかつた、その後屢々廣く一般に商工業のための機會均等といふ言葉が用ひられたのであるが、果して文字通りの廣い機會均等が約束されたのか疑問の余地があり、そのために實際問題について爭を生じたことも少くなかつた、九國條約はこの點に關して支那に對する列國の政策を明確に精細に規定したものである、それが嚴格に從來の門戶開放機會均等そのものに當り、それに代るべきものであるか否かに就ては多少の問題もあらうが、少くとも大體にはそれに當り、それに代るべきものといふことが出來る

九國條約はかやうに、支那に對する從來の最も重要な政策を明文をもつて詳細に規定したものとして極めて重要なものである、殊にロシアとドイツが加つてゐないけれども、その他の一切の世界の強國と支那に重要な利害關係を有する國家がすべて加つてゐて、それ等が一つの共同な根本政策を協定したものとして一層重要である、更にこの條約は世界大戰後の平和的、進歩的、協調的の空氣が世界を風靡してゐた時に締結されたものであつて、支那の安定と發達に對する列國の同情と援助の精神が最も顯著に現れてゐる點でも、特に注目すべき意義のある條約である

英、佛、白各國の公敎徒に呼掛け
山本少將、老軀提げ渡歐

【東京廿一日同盟】羅馬法王廳が防共精神の立場で日本を支持するとの宣言に應じ米國を始め全世界三億三千萬のカトリック教徒は日本援助の動きを見せてゐるが、正義日本の眞意を中外に宣揚するカトリック國民使節に今回海軍少將宮內省御用掛山本信次郎氏が決定、同少將は還曆の老軀を携げ國家への最後の御奉公の覺悟で大任を受諾近く羅馬を始め歐米諸國へ出發することゝなつた、少將は大正十年聖上陛下が皇太子殿下の御供として御外遊の隨員として供奉申上げた海軍部內切つての佛蘭西通で又深いカトリック信者

大正八年羅馬法王廳よりカトリック最高大勳グレゴリオ一等勳章を授與された、出發に先立ち來月早々北支、上海を視察し天津のバイナ僧正を始め舊知の宣敎師達と會見日本の立場を强調した後、十一月末羅馬に向ひ次いで英佛白各地を巡歷後アメリカに渡る豫定である、少將は語る

世界のカトリック敎徒が全部起ち上れば日本のため本當に力强いことです、私は四十年來一介の信者に過ぎないが、今回大任を引受けた以上老骨最後の御奉公と覺悟の、最善を盡さねばなりません、歸朝は來春三月頃になりませう、世界到る處

我海上保險躍進
倫敦市場と絕緣

【東京十九日同盟】日英間には十八日午後臨時會合を催し對立した戰時保險料率問題は遂に妥協を見るに到らず留保期日たる十九日午前九時を前にして我が海上保險一睦會で一睦會加盟十五社は本邦內果左の如く大綱を決定した

一、日英戰時再保險問題決裂後に於ては我が國內保險業者は一切倫敦市場に賣出さず前記プールによつて國內で消化する、尙プールの運行に關する具體的取極めは東京海上他六社の小委員會に一任する

一、かくて久しく倫敦に引き摺られて來た我が海上保險界は本日付獨自の立場で不當な倫敦の要求を一蹴、戰時保險に關する限り全くその羈絆を離脫し獨行することゝなつたが、これは一面に於て我が海上保險界の一躍進を意味するものである

海軍々務局長更迭

【東京廿日同盟】廿日午前十一時發表、海軍省副官談、海軍省軍務局長豐田副武中將は二十日付莱要職に補せられ、新軍務局長には軍令部出仕兼海軍省出仕井上成美少將が任命された

十月中旬對外貿易

【東京廿日同盟】大藏省發表十月中旬對外貿易概算左の如し（單位一千圓）

輸出	九九、二五三	二三、三四
輸入	八七、三四四	四八、八六
合計	一八八、五〇七	一、九七、五六
出超	一三、〇二九	二、八八、一四四
一月以降累計入超	七、九二、三七三	一、〇〇七
重要品輸出入額		一、五三三
輸出		八、三五
絹織物	一七、二四	四〇、四六六

生糸		二、三、三四
人絹織物		四、八六六
機械類		一、九七一
罐瓶詰食料品		五、四七六
絹織物		二、八七一
メリヤス製品		一、九七四四
毛織物		一、〇〇七
陶磁器		一、三五三
綿織糸		二、八二一
玩具		一、五三三
人絹糸		一、三三三
木材		八、三五
其他		四〇、四六六
計		九五、六四一

輸入		
棉花		一〇、六〇三
羊毛		七、三三
豆類		一、三二
生ゴム		七、三三
パルプ		五、四八一
木材		一、九七一
石炭		一、三三五
礦安		三三五
採油用原料		八九七
油粕		四四三
麥		八六九
麻類		八七〇
砂糖		四三九
其他		天、六六六
計		八三、四六六

慶明二回戰

【東京廿日同盟】慶明二回戰四A對〇で明治再勝、バッテリー慶應＝成田、高東、櫻井明治＝清水、櫻井

明二〇〇〇

外國人の身分證明
公安維持の爲強制
關係法律案、上院で審議

當國には外國人の入國に際し單に旅券による外不良分子の上陸を阻止すべき法律なく、而も屢々旅券を僞つて渡來し國内において公安を害するものある點に鑑み聖州選出聯邦上院議員アルカンタラ・マツシヤード教授は外國人に手帖携帶の義務を負はすべき法律案を上院に提出し該案はすでに第二讀會に付され且つ憲法司法委員會に於ても贊成意見書を提出してをるところ一昨二十日の議會に於てアルカンタラ議員は目下取締の折柄該案を即時樂決に附すべき緊急動議を出した、同日は定員數に不足あり決議に至らなかつた、但し該法律案は何れの方面より見るも必要と認められてるので遠からず議會を通過するものと見られる

身分證明
左傾分子

日米、海の爭覇戰
南米航路を強化
日本商船隊の進出に備ふ

北米汽船

北米と中南米諸國との通商貿易逐年增大の一途を辿りつゝある

北米政府に於ても之ら諸國との諸關係の緊密化に積極的に乘出してゐる折柄、既報の山下汽船、川崎汽船等日本商船隊の中南米進出に刺激され米亞兩國間の交通運輸を强化しようとしてゐる未だ確定的な事は判明しないが、これに關する具體案によれば現在紐育、ブエノス間を航行してゐるムンソン・ラインの汽船は之を北歐航路に廻はしパナマ・パシフイクラインの大型汽船三隻を代りに就航させる筈であり之で北歐、中南米兩航路の改善を期すると云ふのである

北米の南米航路强化策はこれのみでなく、サンフランシスコ發電報によれば、同地のマツコーミツク汽船會社は米洲太平洋沿岸とブラジル亞國の貿易增大に鑑み桑港を起點に兩米太平洋岸並にマゼラン海峽通過、亞國、伯國に赴く航路に對して五隻乃至六隻の新造船を就航せしめんとの計畫を進めてゐる由である

工事を急ぐゴルフ場
卅一日に市毛さんの送別試合

邦人社會もゴルフ場を持つようになつたから大したものである、まさに日進月歩である——（既報、郊外ピラ・サンペルナルドのゴルフ場は目下第一期工事を急ぎつゝあり今月二十五日迄には完成する豫定である、その完成をまつて卅一日の日曜日を期してゴルフ場開きを兼ね市毛總領事の同ゴルフ場開設に對する努力を感謝の意味に於いて送別試合を挙行することゝなつた

なほ當日下の會員は市毛、宮坂、加藤、宮腰、君塚、水上、神崎、森、神野、蜂谷の十名で右ゴルフ場第一期完成の上は廣く會員募集をなす由（漫畫は市毛總領事）

來年度の汎ノロ大會に備へ
準備委員會組織
青年聯盟張り切る

チエテ青年聯盟では去月廿六日午後二時から各團體代表者集合し左の件を協議した

一、聯盟の新事業として新聞購讀料集金を行ふ
一、明年度チエテで開催される汎ノロエステ陸上競技大會に備へ準備委員會を組織

即ち新聞購讀料金の集金は——全チエテ移住地の購讀料を集金して其の手數料を會の經費に當てる、また明年八月チエテ中央グランドで開催される汎ノロエステ陸上競技大會に就いてはこれが準備委員會を組織し、開催其の他一切に關し準備委員會に當らしめ中央グランドの擴張も大々的に行ふ

チエテ・青年聯盟
全部日本へ
二百コント突破か

最近伯國より日本向輸出されるうちで素晴らしい躍進振りを示してゐるのは鉱力屑で昨年度は七六六、七六五キロ、一一三コント八六〇

珈琲院は
更に二年間存置

【リオ二十日】過般聯邦議會を通過した五月の珈琲生産州會議決議事項、即ち珈琲院は現在同樣の目的並に組織において九三九年十二月三十一日まで存置すること、珈琲植付制限に關する法律案は本日大統領の署名を得即日公布された、因にかねてコスタ藏相から發表されてゐた過剩珈琲買上資金五千万コント支出の件は本日會計檢査院の許可を得たが之により今季生産高の七割を買上げた上は需給の均衡を完全に保ち愈々他鐵爭國と本腰に對抗出來ることにならうと期待されてゐる

賣上金
珍・國防献金後日譚
一コント余を寄托
裸にされた不貞女房

既報、傭人と不義を働いた不貞女房を早速離縁した聖市林田太郎氏（假名）はその後女房に買つてやつた毛皮、や時計記指輪等を賣り拂つて國防献金をすることになり取敢へず右品物を日本人會へ持參したが、その賣上高一コント三ミル五百レースを本社へ寄託した、離縁手續に立會つた某氏の語る處によると

林田氏は聖市で永年バステス屋をやつて居り財産も五六十コント余もあり世話する人あつて青柳の女給であつた酒井よしえ（二七）を妻にめとつたのだが本年二月頃から使用人の坂井クタミ（二九）と情を通じてゐたものでそんな事とは露知らぬ好人物の林田氏は坂井が獨立したいといふので盛大な送別會や開業準備にもなにくれとなく世話してやつたミルに上つて居り伯國より輸出される鉱力屑は全部日本へ積出される有樣であり本年度は金額二百コントを突破するであらうと豫想されて居る

一九二四年	五五、三五七	三、三〇一
一九二五年	五四〇、〇〇四	一八、一八八
一九二六年	七六六、六三七	二三、八六〇

來年度棉種子配布量
十七萬四千俵突破
筆頭はパウリスタ線

去九月中聖州農務局六三七—三八農年度に對する棉種子配布は十七萬四千二百廿八俵でこれを七月及八月の既配分十三萬九千六百八俵に通算すると三十一萬三千八百六十三俵となる、これ等配布の棉種子は既に州内二百六十二郡中二百二十四郡に向けられてゐるが、この中特に配布俵數の多き十郡を順位別に示せば次の如くである

マリリア	二四、四二九俵
カンピーナス	二一、七二六
バウルー	八、七五二
アヴアレー	六、二四四
ジヤボチカバール	七、八八八
アラサツーバ	六、七二八
ピラシカーバ	六、三〇九
プ・プルデンテ	六、三三五
イグーポリス	五、九六五
	五、〇〇九

教會人も起っ
日本人ミツソン
献金募集開始

祖國キリスト教聯盟は主體となつて教會各派團體を通じて皇軍慰問大運動を開始してゐるが、同地日本人ミツソンもにめとつたのだが本年二月頃から使用人の坂井クタミ（二九）と情を通じてゐたものでそんな事とは露知らぬ好人物の林田氏は坂井が獨立したいといふので盛大な送別會や開業準備にもなに

Postal, 2628宛にされたいと市日本人ミツソン本部 Caixa

教育晋及會
撮影班設置

教育晋及會映畫班では今回十六ミリ映畫撮影機が到着したので從來の映寫から撮影へ飛躍、各地の邦人産業施設や學校等をカメラにおさめるべく近々出發することゝなつた

聖市寫眞同好會

カメラ・ピクニツク

既報、聖市寫眞同好會では來る卅一日サントスへカメラ・ピクニツクを行ふことゝなつたが、參加希望會員は成るべく早く千田勝雄氏まで申込まれたいと

亞國大統領
危禍を逃がる

【ブエノス廿日アバス】亞國ノスト大統領のサンニコラス市博物館並に圖書館開館式に臨んだのを機に何者か二行の乘車列車を轉覆せんと圖つた者あり、取調の結果、實際枕木の釘が拔かれてゐたが轉覆するほどの程度でなかつたこと判明した

主要商品市況
【十月廿一日】

	買値	十月廿一日
▼アロース	九七〇〇〇	三、〇〇〇
アグーリヤ（ボン）	八九〇〇〇	三、〇〇〇
同（ボン）	三三〇〇〇	三、〇〇〇
▼フエジヨン	三七〇〇〇	三、〇〇〇
ムラチーニヨ	三七〇〇〇	三、〇〇〇
同（ボン）	三七〇〇〇	三、〇〇〇
▼ミーリヨ	六、八〇〇	六、八〇〇
アマレリン二ヨ	六、八〇〇	六、八〇〇
アマレロン	六、八〇〇	六、八〇〇
▼バタタ	三七、〇〇〇	三七、〇〇〇
スペリオール	三七、〇〇〇	三七、〇〇〇
ボア	三七、〇〇〇	三七、〇〇〇
▼砂糖（ハレイ）	六、〇〇〇	六、〇〇〇
小麥粉	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
バーニヤ（箱）	六四〇	六四〇
▼マモーナ	三、三〇〇	三、三〇〇
▼カフエー（四級品）	四七、〇〇〇	四七、〇〇〇
▼アルゴドン		

紐育證券市場
小康を保つ

十八日突如大混亂を演じた紐育證券市場はその後の情勢を見るに當初懸念された九二年の大恐慌の二の舞を演ずるが如きは萬々なきものといはれてゐるが一旦低落した諸證券は直ちに恢復の模樣なく市場は全般に警戒氣味である

ルーズベルト大統領は經濟顧問を招致し前週來の市場情勢調査中だが、「該顧問の談によれば、近來重工業品の受註激減したゝめこれが悲觀的材料となつて證券市場に影響を與へたものと見られるが恐慌とまでゆく形勢はなく、ル大統領は目下干涉の意圖は目下のところ持つてゐないと

「ミナス」と命名
國内に買手がない

既報、ミナスで發見された百七十カラットの大ダイヤは伯國ではずつと以前のものに從來の映寫から撮影へ飛躍、各地の邦人産業施設や學校等をカメラにおさめるべく近々出發することゝなつた

170カラット
のダイヤ

「南星」と命名されたもの、次く大もので研磨による價値は裕に百カラットはあるといふ、嚴密なる審査の結果白色ダイヤとして一點非丸には在亞同胞から献納された銀紙六十キロが積まれてゐる

◎…目下スキスに亡命中の前大統領ワシントン・ルイス氏の誕生日は來廿六日に相當するが、當日は午前十時同氏の知人並に支持者はサンベント寺院に參集盛大なミサを行ふ筈

◎…聖市日會では國防献金第一回分として八十コント四百三十九ミル餘を去十三日總領事館を經て祖國へ送金したが、第二回目も昨廿一日までに既に二十コントをパスしたといふ好成績振りである

◎…チエテ青年聯盟では興世山鯉踊トリオを招いて公演したが頗る不人氣で五百ミルばかり足を出したと

◎…去十九日午後九時四十分現在パリ萬國博の觀覽者數は二千五百萬人に上り、一日中觀覽者の最も澤山あつた日は九月廿日の四十四萬二千五百六十人であつたとしてゐる

◎…市毛總領事は來月九日サントス發の便船で北米經由歸朝することになつてゐたが同船は聖國より亡命客が十數名乘るため席がなく總領事の出發も延期のやむなきに至つた由

◎…十月一日から廿一日まで總領事館で取扱つた國防献金は九十九件九十四コント四百二十ミルの巨額に達してゐる

◎…近々出發するサントス

産國は ミシン イムペリアル
Caixa 3132 S.Paulo

結核に病む子に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
胃腸病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
衰弱病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
老衰を防ぐ　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
弱い子に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
結核病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
胃腸病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
衰弱病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心

結核病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
胃腸病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
衰弱病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
老衰を防ぐ　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
弱い子に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心
結核病に　錠劑 わかもと　ニセモノ有リミツワ商會レッテル付なら御安心

製造元
特許 わかもと本舗 栄養と育兒の會
直輸入元
ミツワ商會
電話 二二四四四五 郵函 三六五六

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 6.a-feira, 22 de Outubro de 1937 — Num. 1.236

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500

PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 0$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

A attitude dos EE. UU. ao participar da Conferencia das Nove Potencias

Washington, 16 — Domei — Os EE. UU. foram officialmente convidados a participar da Conferencia das Nove Potencias. O governo dos EE. UU. nomeou o sr. Norman Davis para chefe da Delegação, que partirá no dia 20 para Bruxellas.

Esta Conferencia das Nove Potencias, tanto desta vez, como nas subsequentes, dá a entender, que será um conclave no qual a S. D. N. fará as suas investigações, razão porque os EE. UU. de forma nenhuma tomarão a direcção da mesma.

Conforme os telegrammas e outras noticias do "New-York Times" sabe-se que:

Os EE. UU. não tomarão a liderança da Conferencia porque esta tem por fim, nesta e nas subsequentes, a S.D.N. fazer indagações aos participantes sobre questões do Extremo Oriente, para depois publicar em nome della as resoluções tomadas.

Mesmo que surja situações criticas para o seu paiz, a America seguirá sempre a sua politica já definida, independente.

O Japão e a China

O seguinte trabalho é do sr P. J. assiduo collaborador do "O Estado de S. Paulo", e que foi publicado recentemente nesse grande matutino paulista:

"Uma das mais importantes revistas italianas, e talvez a de mais prestigio é "Nuova Antologia" cujos numeros quinzenaes trazem sempre copiosa e interessante materia.

"Ainda, ha pouco, em longo estudo, o sr. Francisco Severi que conhece profundamente o Japão, occupa-se com esse Imperio, referindo impressões directas recebidas.

Na impossibilidade de um longo transumpto desse artigo, vamos resumir apenas o trecho em que o autor faz um parallelo entre a China e o Japão.

E' geral o preconceito de que entre o Japão e a China existem notaveis semelhanças. Nada é menos exacto. A China é uma grande nação orientalissima, mas, sob certos aspectos, está tão longe do Japão quanto estamos nós.

Entre as raças fundidas no immenso conjunto chinez, são escassos os elementos malasios e da Asia Meridional, ao passo que no povo japonez se reconhecem muitos elementos asiaticos do norte, mas o influxo dos meridionaes é notavelmente mais accentuado.

A China é um continente vastissimo, que possue, ao pé de amplas cadeias montanhosas, planicies de grande fertilidade formadas por depositos de finissima areia amarella dos desertos da Asia Central, transportada pelos ventos invernaes do nordeste, ou pelos alluviões de grandes rios, ou provinda dos fundos de vastissimos lagos, de épocas geologicas anteriores. O Japão, entretanto, consta de uma série de seis ilhas circumdadas por cerca de quatro mil ilhotas. Essas ilhas se estendem, no Oceano, por 3.500 kilometros, com pouco terreno e montanhas rochosas, semelhantes a muitas da Italia central e meridional, circundando planicies escassas, pobres no ponto de vista agricola.

O clima, especialmente na China septentrional, mais visinha ao Japão, é sequissimo, ao passo que no Japão é humido.

Se é verdade que o grau de humidade e luminosidade da atmosphera repercute notavelmente na formação espiritual do homem, não sómente pela acção sobre o systema nervoso, como pelo genero de vida que determina, explicam-se do ponto de vista ambiental as profundas differenças no temperamento, nas qualidades intellectuaes e nos costumes dos dois povos.

Diz-se, por exemplo, que os banhos quentes diarios dos japonezes são um meio de defesa contra o clima muito humido. Decerto que, emquanto na China a limpeza entre as classes menos favorecidas, está longe de ser admiravel, o japonez é um dos povos mais limpos do mundo. Nenhum japonez, por mais pobre que seja, deixa de tomar banho pelo menos uma vez por dia. Podem-se encontrar no Japão pessoas na extrema miseria, mas os trajes são sempre limpos. O banho é para o japonez uma necessidade organica, como o comer.

Outra nota discordante: nas cidades chinezas, como em outras regiões da Asia, ha mendigos, a esmolarem em numero exasperante. No Japão, entretanto, o pobre morre ou suicida-se pela miseria, mas não ousa estender a mão á caridade."

As relações commerciaes entre Allemanha, Japão e Mandchuria

Tokio, 12 — Domei — As relações economicas entre o Japão, Mandchuria e a Allemanha tornam-se cada vez mais intensas, principalmente pela conclusão do tratado commercial entre a Allemanha e a Mandchuria, e pelo accordo anti-communista nippo-allemão.

Para melhorar o commercio exterior e para augmentar cada vez mais a capacidade productora nippo-allemã e se possivel afim de adiantar até a conclusão de uma alliança economica nippo-allemã, trabalhará muito a Missão Economica Godo que está para ir á Allemanha.

A Mandchuria baseando-se no accordo commercial mandchú-allemão exportará mercadorias á Allemanha no valor de..... 10.000.000 de yens annuaes.

A Mandchuria, para levar avante o recente plano quinquenal de producção, augmentará a importação de machinismos da Allemanha.

A Companhia Metallurgica "Showa" augmentará grandemente as suas actividades productoras, sendo o material importado da Allemanha, e só essa importação attinge a mais de 10.000.000 de yens.

Assim sendo, a Mandchuria quer augmentar a sua importação annual para 20.000.000 de yens, estado já para creditar tal importancia.

O Japão tambem tem relação com essas actividades commerciaes mandchú-allemãs, sendo muito possivel a realização de um tratado commercial entre os tres paizes e isto muito brevemente.

Sobe a 365 apparelhos a perda da aviação chineza!

A aviação naval japoneza perdeu 46 apparelhos

Tokio, 20 (Domei) — Declarações de um ajudante de ordens do ministerio da Marinha publicadas ás 18 horas:

"A nossa aviação naval continua em febril actividade tanto na China do Norte como em Shanghai. Na China do Norte os nossos apparelhos teem destruido, por meio de bombardeios violentos, bases militares e aereas, depositos de armas e munições, meios de transportes e communicações militares chinezas, obtendo optimos resultados do ponto de vista estrategico. Na frente de Shanghai, a aviação naval, em cooperação com as columnas de terra, effectuou bombardeios continuos ás concentrações inimigas, causando-lhes enormes perdas. Desde o dia 11 do corrente até hoje abatemos 10 apparelhos chinezes e destruimos em terra 31, attingindo portanto a 41 o total de aviões inimigos destroçados nestes ultimos 9 dias. Durante este periodo perdemos 7 apparelhos.

O balanço geral dos apparelhos chinezes destruidos ou abatidos desde o inicio das hostilidades é o seguinte:

PERDAS CHINEZAS

Aviões abatidos	153
,, destruidos em terra	212
Total	365

A perda total do nossa aviação foi de 46 apparelhos, desde o começo do actual conflicto".

O commercio dos generos de primeira necessidade

Controlado rigorosamente pelos poderes publicos

Tokio, Agosto — O ministerio do Commercio e Industria está exercendo, em todo o territorio nacional, fiscalização cada vez mais rigorosa no sentido de evitar o commercio deshonesto, principalmente dos generos de primeira necessidade. Nesse sentido de evitar o commercio deshonesto, principalmente dos generos de primeira necessidade. Nesse sentido solicitou a collaboração da Federação das Associações Commerciaes, por intermedio da qual fez o seguinte communicado:

1.o — A observação rigorosa da tabella de preços dos generos de primeira necessidade, estabelecida pelas associações commerciaes;

2.o — Proceder, constantemente, ao recenseamento da procura e offerta, assim como dos preços vigorados, fazendo as notificações que julgar indispensavel ao ministerio do Commercio e Industria;

3.o — Verificada a infracção, tomar a medida que julgar conveniente, notificando o ministerio do Commercio e Industria quando lhe faltar a auctoridade indispensavel para tal fim.

O sr. Kozo Ichigé, Consul Geral do Japão em São Paulo, deixará o Brasil

O consul Ichigé, muito querido pelos elementos da colonia, principalmente pelos moços esportistas, por ter sido grande incentivador de esportes no seio da colonia, partirá pelo navio "Western Prince" que deixará Santos no dia 9 de Novembro.

O sr. Ichigé passará por diversas localidades de producção de algodão dos EE. UU. para fazer estudos sobre este producto.

Depois disso seguirá para a sua patria pelo vapor "Taiyo Maru".

O Japão não receia as sancções

Importantes declarações de ministro do Commercio e da Industria, á «United Press»

Tokio, 19 — A completa ausencia de receio por parte do Japão relativamente aos effeitos da possivel applicação das sancções economicas internacionaes e á absoluta confiança do Imperio em suas proprias forças foram hoje accentuadas á "United Press", em entrevista exclusiva concedida pelo sr. Shinji Yoshino, ministro do Commercio e da Industria. O ministro discutiu francamente toda a vida industrial e economica japoneza.

Interrogado sobre o que pensava das possibilidades de as nove potencias pedirem a applicação das sancções contra os japonezes, o sr. Shinji Yoshino respondeu:

"Penso que podemos contar com o sr. Hirota sobre esse ponto". Mas, ao insistirmos sobre a maneira por que elle, ministro do Commercio e da Industria, considerava o effeito possivel das sancções, disse:

"Sim, consideramos amplamente esses effeitos e acredito que o Japão estará em condições de resistir ao facto. Os recursos japonezes na Coréa e no Mandchukuo são tidos em muito pequena conta, no occidente. O Japão é um paiz completamente differente do que era ha vinte annos, em virtude do desenvolvimento industrial technico. O paiz presentemente, quasi se basta a si mesmo, inclusive no tocante aos materiaes de guerra."

Interrogado sobre a presente attitude japoneza em relação aos negocios dos cidadãos estrangeiros na China, uma vez terminadas as operações navaes e militares, precisou:

"Depois de concluidas as operações navaes e militares acredito que o Commercio da China com os demais paizes tomará novo surto. O Japão quererá naturalmente interferir nos negocios e interesses estrangeiros naquelle paiz, mas deseja que lhe seja concedido o mesmo tratamento que a China dispensa ás demais nações. Tendo lhe sido perguntado se a applicação de restricções ás importações japonezas, com o objectivo de evitar a immigração do capital japonez para o estrangeiro, significaria a perda do mercado nipponico para os exportadores estrangeiros", e se "as restricções tendiam a fazer com que o Japão se bastasse ainda mais a si mesmo ou se o paiz continuaria a negociar com outras nações" o ministro declarou:

"As presentes restricções ás importações são apenas uma medida de emergencia. Em sua applicação serão tomadas em considerações os pontos relativos aos accordos com outros paizes". Alludindo em seguida ás condições financeiras e economicas japonezas disse que "estas eram as mais sãs, como attestava o facto de que as despesas para a execução das hostilidades haviam sido facilmente effectuadas e que, ao demais, havia ampla provisão de capital civil, como o provova a taxa dos juros". Accrescentou que a porcentagem das reservas ouro, os preços dos viveres e as taxas do cambio estrangeiro tinham permanecido inalterados durante todo o anno corrente, acreditando portanto que não adviriam as consequencias prejudiciaes ao paiz, mesmo se a applicação das sancções ficasse decidida. No concernente ao commercio externo accentuou que não haveria difficuldades na obtenção de materias primas e que os estabelecimentos industriaes funccionam incessantemente.

Retornando á discussão sobre a falta de receio do Japão relativamente á applicação de sancções, visto que o paiz podia suprir suas proprias necessidades, o sr. Yoshino discorreu pormenorisadamente sobre o augmento da producção nipponica decorrente de nova exploração de minas. Com effeito, essas minas que se considerava não compensar qualquer despesa feita com ellas, continham pouco menos do que um milhão de toneladas de minerio. Reportou-se ao rapido desenvolvimento da fabricação de productos substitutos, taes como o "ersatz" allemão, especialmente no que tocava á borracha, algodão e lã e concluiu:

"Confesso que o oleo representa a maior difficuldade, mas ha os planos aperfeiçoados para retiral-o do carvão, de accordo com a technica allemã. Quanto ás exportações de seda, caso as sancções fossem estabelecidas, o Japão não receberia um grande golpe nesse sentido e, no que concerne á alimentação, esta não representa um problema, pois no paiz ha abundancia de arroz e de peixe. E' duvidoso que os resultados das sancções possam ser completos, como ficou provado no caso da Italia".

御用盜異變

武崎伸平（北富三郎）

（百一）

闇に咲く（五）

「いえ、今日始めて見る人ですけれど、でもあそこには犀山奉公人が居りますので、妾全部の人を存じてゐるといふわけでもございませんから……」

「さうですか」

女中頭を勤めてゐるお近といふ中年の婦人は、晝間のことではあるし、萬間違ひはあるまい——と思ひながらも、まだなんとなく不安さうに

「では、お仲間にでも、尾いて行つて貰つては……？」

「はい、さう願へましたら、出かけるとしませうぜ」

「はい」

急いで立つて行つたおひろは、部屋の外の廊下に出ると、そこに立つてゐる壯助に

「お使ひだてして、恐れ入ります」

「へい、かうしたお使ひなら日に百度でも……」

「オホホホホ、相變らず壯助殿の輕口なこと……」

お近はおひろ共々上品に笑つたが、

「大事な如月茶屋のお預かりもの、よろしくお願ひします よ」

「合點承知で、この壯助がゐるからには、例へ百人の賊が現はれやうとも、お殿様直傳の眞劍白刃取りの秘術で……」

「解りました、よろしくお願ひします」

お近は壯助の道化を封じて

「では、出來るだけ、早く歸つて下さいましよ」

「はい、承知いたしました」

お近も壯助も、濕順なおひろに平常から好意を感じてゐるだけに、かうした時に、その親切が現はれるのだが、一つには如月茶屋からのふんだんな心付が利いてゐるせいもあるのだらう

「如月の若い衆さんで、……わつちは、壯助つて仲間ですがね、おひろ様をお送りするやうに御用人の阿部様から申付かつたんだ——よろしく頼みやすぜ」

「それは御苦勞さんでございます、申し遲れまして——わつちは深川平右衛門町の、こちらに伺つて居ります おひろ様の親元——如月茶屋の若い者で平助つて申します」

二人の男が、麗爪らしい挨拶をしてゐるところへ、おひろが淑やかに膝手口の方から出て來た

「お待遠様でしたねえ——」

× × ×

Akaki & Cia.
COMMISSÕES — COMPRAS E CONTA PROPRIA

委託販賣 農産物賣買

極上等カテテ米

赤木商會

RUA SANTA ROSA N. 473
Caixa Postal, 1897 — S. PAULO — Teleph. 2-9081

出張治療

ソロカバナ線アバレ驛
東京旅館方へ

來る十一月五日より向ふ十日間滯在治療に應じます
十一月十六日より向ふ十日間サンタ・クルス・ド・リオ・パルド佐々木旅館方へ出張治療します
何卒地方の御方々で御困りの御方は一度御試し下さらんことを御願致します

牧山卯三郎
聖市ガルボン・ブエノ街

急募
裁縫見習生 二名
委細は面談、照會は
小林洋裁專門學校
聖市サンジョアキン街四四七
電話 五九七〇

Bar e Restaurante Leão
Av. São João, 184
〈近の局便郵
理料御の味美も最
ことは
りよ午時十朝
迄時一夜
—段値お業大—
ヤジンカ上極
… 1$200 …

A ITALO-BRASILEIRA
Paschoal Rambaldi
Rua Quintino Bocayuva, 74 Tel. 2-7021
MATRIZ
Rua da Liberdade, 166-A Tel. 2-1424
SÃO PAULO
日本人の皆様に最も信用ある
家具一切
其他蓄音器、ミシン及家庭必要品
各種取揃へてあります

Marcenaria do Carmo
de
João Pineroli & Cia
Rua do Carmo, 45A esq. Ladeira
Tel, 2-2634 S. Paulo
各種家具、カーマパテンテ
工場値で御用命に應ず
現金又は月賦拂の便あり